



市民が作る自然図鑑「あかし市民自然図鑑（明石公園：野鳥編）」

（簡易版）

調査報告書

あかし生物多様性調査

2014/01～2016/03



春

アトリ

明石市環境基本計画推進パートナーシップ協議会（エコウイングあかし）は、生物多様性あかし戦略の一環として、調査会社に依頼するのではなく、明石市民、自らの手で市内の自然環境の調査をし、最後に図鑑の形でまとめる活動をしています。題して、「あかし市民自然図鑑」。その記念すべき第一弾が、明石公園の野鳥調査です。

明石公園はＪＲや山陽電鉄の明石駅から徒歩で数分という立地の良い所にありながら大きな緑地と濠や剛ノ池な

どの水面が広がっており、市街化の進む明石市の東部にとって貴重な自然環境となっています。

調査期間は2014年1月25日から2016年4月16日までの2年4か月間、調査に参加した人数はのべ883人でした。参加メンバーの中には「鳥の名前で知っているのはスズメとハトとカラスくらい」という初心者の方も多くいましたが毎回、日本野鳥の会ひょうごの指導を受けながら調査を続けた結果、鳴き声を聞いただけで鳥の名前がわかるようになった人もいます。期間中に確認できた野鳥の種類は（表①）のとおり66種類でした。季節により観察できる種類は変わりますが、このうち14種類（網掛けの部分）の野鳥は1年中確認できました。調査で特に好評だったのはほぼ1年中観察できたカワセミです。カワセミというと山奥の綺麗な渓



秋

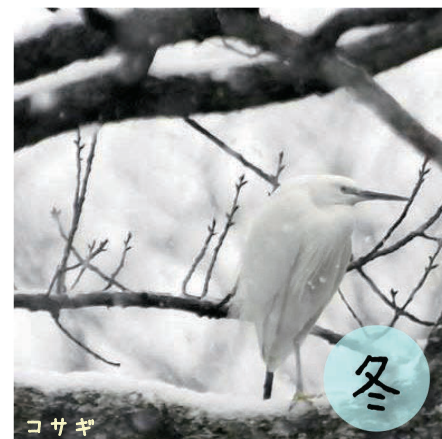
コゲラ

流に棲んでいると誤解されがちですが、明石公園でも普通に観察できることが判りました。また、春と秋の渡りの時期に見られたオオルリやキビタキ、夏のアオバズク、冬のルリビタキと、1年を通して様々な野鳥と出会うことができ、市民にとって明石公園は身近な存在ですが、あらためてその魅力に気づかされました。なお、この調査への参加がきっかけで、自然や生物多様性に関心を持つ市民が増えたことも成果といえるでしょう。



夏

アオバズク



冬

コサギ

2014/04/26



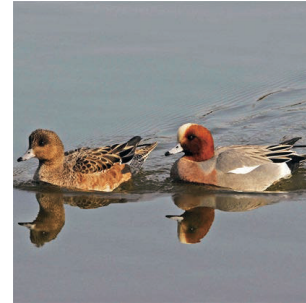
エコウイングあかし／日本野鳥の会ひょうご

目	科	No.	種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
カモ目	カモ科	1	☐ ヒドリガモ	●	●	●	●					●	●	●	●
		2	☐ マガモ	●	●	●	●						●	●	●
		3	☐ カルガモ	●	●	●	●						●	●	●
		4	☐ ハシビロガモ	●	●									●	●
		5	☐ ホシハジロ	●	●									●	●
		6	☐ コガモ	●	●	●							●	●	●
カイツブリ目	カイツブリ科	7	☐ カイツブリ	●	●	●	●		●		●	●	●	●	●
フクロウ目	フクロウ科	8	☐ アオバズク				●	●	●	●	●	●			
ハト目	ハト科	9	☐ キジバト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		10	☐ アオバト					●							
カツオドリ目	ウ科	11	☐ カワウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ペリカン目	サギ科	12	☐ ゴイサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		13	☐ アオサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		14	☐ ダイサギ			●				●					
		15	☐ コサギ		●	●	●								●
		16	☐ オオハシ											●	●
チドリ目	カモ科	17	☐ ユリカモメ	●	●	●	●								●
タカ目	ミサゴ科	18	☐ ミサゴ	●											●
	タカ科	19	☐ トビ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		20	☐ ハイタカ											●	●
		21	☐ オオタカ	●											●
ブッポウソウ目	カワセミ科	22	☐ カワセミ	●	●	●		●			●	●	●	●	●
キツツキ目	キツツキ科	23	☐ コゲラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		24	☐ アオゲラ									●			
ハヤブサ目	ハヤブサ科	25	☐ ハヤブサ		●									●	
スズメ目	モズ科	26	☐ モズ	●	●	●						●	●	●	●
		27	☐ カケス			●									
	カラス科	28	☐ ハシボソガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		29	☐ ハシブトガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		30	☐ ヒガラ						●						
	シジュウカラ科	31	☐ ヤマガラ	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●
		32	☐ シジュウカラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		33	☐ ツバメ			●	●	●	●	●					
	ヒヨドリ科	34	☐ ヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		35	☐ ウグイス	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●
	ウグイス科	36	☐ ヤブサメ				●								
		37	☐ エナガ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ムシクイ科	38	☐ メボソムシクイ					●			●	●			
		39	☐ センダイムシクイ				●					●	●		
	メジロ科	40	☐ メジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ヨシキリ科	41	☐ オオヨシキリ								●				
	ムクドリ科	42	☐ ムクドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		43	☐ コムクドリ				●								
	ヒタキ科	44	☐ シロハラ	●	●	●	●							●	●
		45	☐ アカハラ				●								
		46	☐ ツグミ	●	●	●	●							●	●
		47	☐ ルリビタキ	●	●										
		48	☐ ジョウビタキ	●	●	●								●	●
		49	☐ イソヒヨドリ					●							
		50	☐ エゾビタキ									●			
		51	☐ コサメビタキ									●	●		
		52	☐ サメビタキ									●			
		53	☐ キビタキ				●	●	●		●	●			
		54	☐ オジロビタキ	●	●										
		55	☐ オオルリ				●								
	スズメ科	56	☐ ニュウナイスズメ				●								
		57	☐ スズメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	セキレイ科	58	☐ キセキレイ	●	●							●	●	●	●
		59	☐ ハクセキレイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		60	☐ セグロセキレイ	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
		61	☐ ビンズイ				●								
	アトリ科	62	☐ アトリ		●	●									
		63	☐ カワラヒワ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		64	☐ マヒワ				●								
		65	☐ シメ	●	●	●	●							●	●
	ホオジロ科	66	☐ アオジ	●	●	●	●							●	●
目	科	66 種		39	40	37	40	26	23	18	25	30	30	36	37

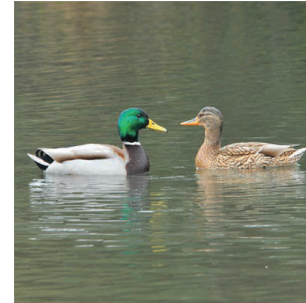
明石公園の野鳥(全66種)

調査期間の2014（平成26）年1月25日から2016（平成28）年4月16日までの2年4か月の間に確認された野鳥をすべて掲載しています。この調査報告書は明石公園の簡易版野鳥図鑑としても使えます。

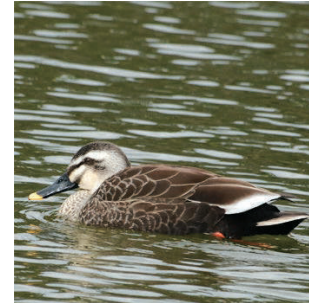
なお、この報告書に掲載されている野鳥の写真は、(41)オオヨシキリ以外、全て明石公園で撮影されたものを使用しました。（現地撮影率：98.5%、写真提供：田中 末治、長尾 高明）



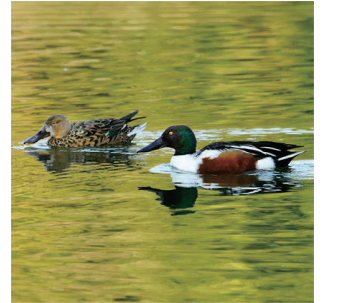
(1) ヒドリガモ



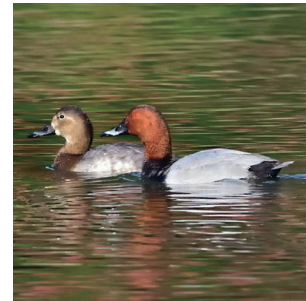
(2) マガモ



(3) カルガモ



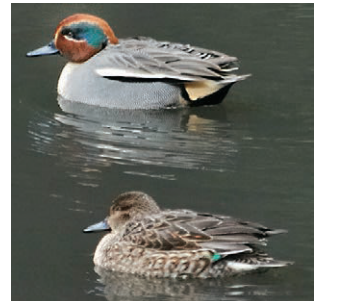
(4) ハシビロガモ



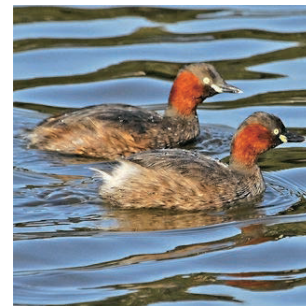
(5) ホシハジロ



(8) アオバズク



(6) コガモ



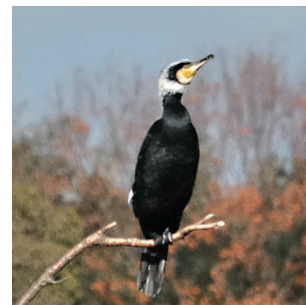
(7) カイツブリ



(9) キジバト



(10) アオバト



(11) カワウ



(12) ゴイサギ



(13)アオサギ



(14) ダイサギ



(15) コサギ



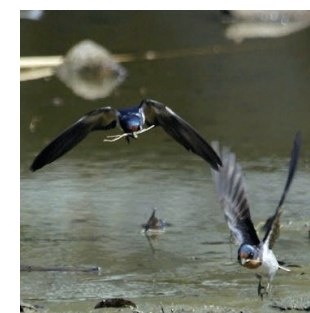
(18) ミサゴ



(31) ヤマガラ



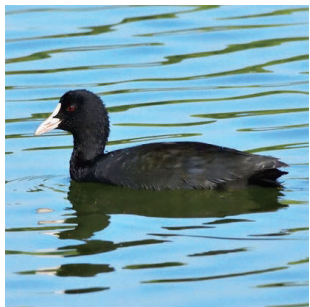
(32) シジュウカラ



(33) ツバメ



(34) ヒヨドリ



(16) オオバン



(17) ユリカモメ



(35) ウグイス



(36) ヤブサメ



(37) エナガ



(38) メボソムシクイ



(19) トビ



(20) ハイトカ



(21) オオタカ



(22) カワセミ



(39) センダイムシクイ



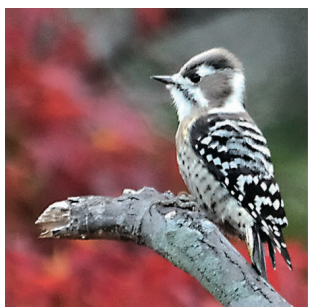
(40) メジロ



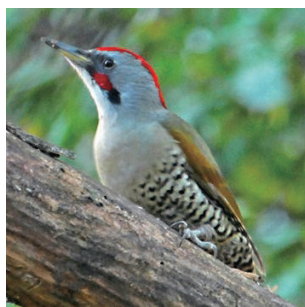
(41) オオヨシキリ



(42) ムクドリ



(23) コゲラ



(24) アオゲラ



(25) ハヤブサ



(26) モズ



(43) コムクドリ



(44) シロハラ



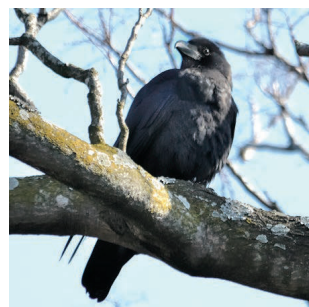
(47) ルリビタキ



(27) カケス



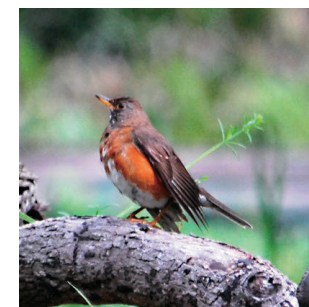
(28) ハシボソガラス



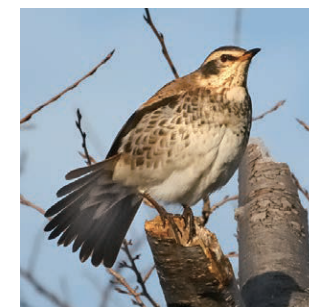
(29) ハシブトガラス



(30) ヒガラ



(45) アカハラ



(46) ツグミ



(48) ジョウビタキ



(49) イソヒヨドリ



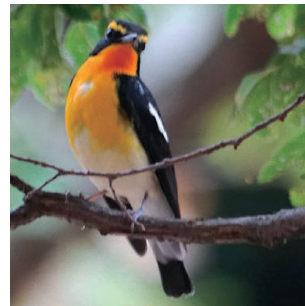
(50) エゾビタキ



(51) コサメビタキ



(52) サメビタキ



(53) キビタキ



(54) オジロビタキ



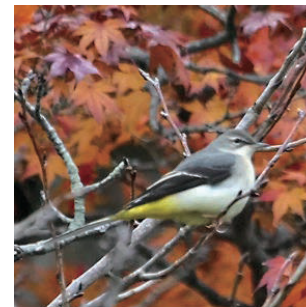
(55) オオルリ



(56) ニュウナイスズメ



(57) スズメ



(58) キセキレイ



(59) ハクセキレイ



(60) セグロセキレイ



(61) ピンズイ



(62) アトリ



(63) カワラヒワ



(64) マヒワ



(65) シメ

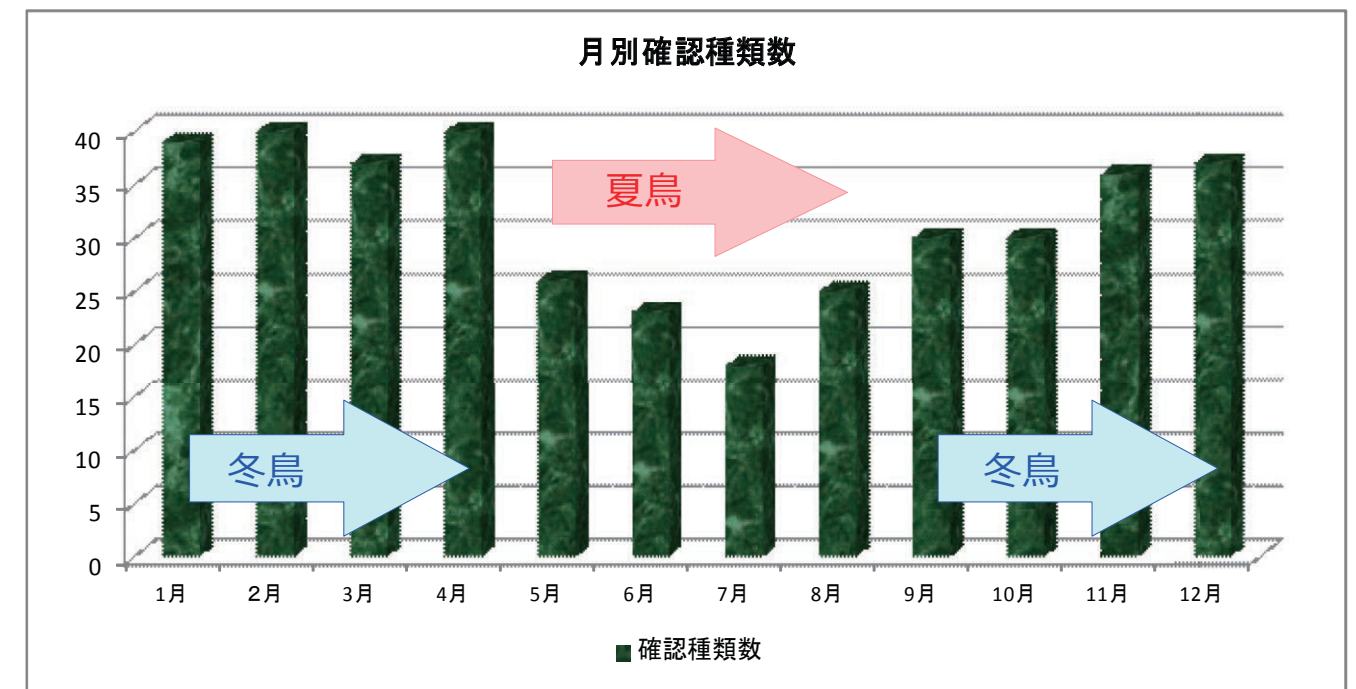


(66) アオジ



(67) 67種目を見つけるのはあなた！

調査期間の2014（平成26）年1月25日から2016（平成28）年4月16日までの2年4か月の間に確認された野鳥の出現種類数を月別にまとめたものが下のグラフです。



グラフを見ると9月から4月までが確認数が多く、反対に5月から10月くらいまでが少ないことがわかります。実は明石市内どここの地点で調査しても、概ねこのような傾向になると思います。

1年中見られる鳥を「留鳥（りゅうちょう）」といい、秋から翌年の春にかけては、この留鳥に加えてカモなど多くの「冬鳥（ふゆどり）」が加わるからです。この冬鳥たちが日本を去る頃、入れ替わるようにツバメなどの「夏鳥（なつどり）」がやって来ますが、その種類は冬鳥ほど多くありませんので留鳥を加えても、このグラフのように冬ほどは多くありません。

そのため、夏の期間は暑さに加え、あまり鳥が見られないのでバードウォッチャーにとってはシーズンオフになります。しかし、アオバズクのように夏にしか見られない鳥や、子育ての様子、幼鳥を観察したり、道（空？）に迷って普段見られない鳥が突然現れたり、貴重な体験ができる可能性があります。明石公園に限らず、ご自宅の近くで自分のフィールド（観察場所）を決めて1年間、無理をせずにバードウォッチングをしてみましょう。



■エコウイングあかし（事務局 明石市市民生活局環境室環境総務課）：電話（078）918-5029
 ■日本野鳥の会ひょうご：電話（078）382-0489※年末年始や祝日を除く毎週土曜日の午後2時から6時

調査地点

調査地点は、明石公園の正面入り口に集合して、堀を西端まで往復、その後、とき打ち太鼓から藤見池、東芝生広場、ひぐらし池、仲よし広場、薬研堀へ、その後、二の丸の北側を通り巽櫓（たつみやぐら）を経て桜堀、剛ノ池の東を北へ上がり、千畳芝、子どもの小川を通ってロータリーの前で鳥合わせ（その日見た鳥の種類を確認しあう）をして解散しました。



【地図データ提供】

公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会

※地図は調査当時のもので、現在とは異なっている箇所もあります。

（公財）ひょうご環境創造協会の生物多様性ひょうご基金（株式会社 伊藤園の寄付金）助成事業